



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 3月号 (No.11)

令和5年3月22日発行



1年を振り返って



今年度、ひすいの里総合学校は創立10周年という記念の1年を過ごしました。その間、子どもたちは、10周年記念運動会や10周年記念文化祭・記念式典と各記念行事に一生懸命に取り組み、お祝いムードを盛り上げてくれました。残念ながら続く新型コロナウイルス禍により、参観いただく人数を制限しての行事が多くなってしまいましたが、ご参観の皆様方より、たくさんの称賛のお言葉をいただくことができました。行事としては、それぞれ1日限りのものでしたが、当日に至るまでの日々の学習の積み重ねがあったからこそその成果だと思えます。そして、一人ひとりがたくましく成長した1年となりました。この1年の頑張りすべてを通し、記念の年に在籍した30名の「ひすいっ子」の皆さんは、みごとにひすいの里総合学校の歴史を次の10年に引き継ぐ役割を果たしてくれました。

また、職員にとっても、創立10周年記念事業を計画・実施するにあたり、創設期の地域や関係者の思い、そして当校に対する期待や願いに触れ、改めて責任の重さを感じる機会となりました。職員一同、引き続き精進して参ります。「ひすいっ子」共々よろしく願いいたします。



1年間がんばった会 (小学部)

3月3日(金)、小学部の1年間がんばった会を行いました。会に向けて、友達と協力して、それぞれに分担された仕事をしっかりこなしながら、準備や練習を進めてきました。当日は、学級ごとに工夫した出し物を発表し合ったり、全員での歌やダンスを保護者の皆さんに披露したりしました。

また、当日「がんばった表彰」として小学部主事の池滝先生より、一人ひとりに表彰状が手渡されました。笑顔で受け取り、誇らしげに保護者席に見せる姿も見られました。たくさんの保護者の皆様にお越し頂き、子どもたちのやる気が一段と増した会となりました。



卒業・進級を祝う会 (中学部)



3月10日(金)、保護者の皆様をお招きして、中学部の卒業・進級を祝う会を行いました。学部全員で互いの卒業や進級を祝い、1年の頑張りを披露しました。会の始まりには、生徒と保護者が一緒にダンスを行い、体も心も温まるスタートとなりました。頑張ったことの発表では、生徒がタブレット学習で写真を選んだり文字を入力したりして作成した、スライドムービーを披露しました。また、卒業生と在校生がメッセージを交換し、感謝の気持ちを伝え合いました。会の最後には、卒業生の保護者から在校生に「学年を越えて仲良くしてありがとう。」、在校生の保護者から卒業生に「中学部をリードしてくれてありがとう。」と温かい言葉をいただきました。卒業と進級を祝う嬉しさと、3年生と別れる寂しさが入り交じった、思い出に残る会となりました。



先生も頑張りました！

年間を通して、子どもたちの頑張っている姿をご紹介してきましたが、子どもたちに負けず、職員も頑張ってきました。今年度は、一人ひとりに合ったICT活用を工夫した授業作りについて、研修を深めてきました。それぞれ工夫した実践を持ち寄って意見交換をしながら、よりよい活用の方法について考えてきました。ICTについては、使うこと自体が目的にならないよう、子どもたちの力を伸ばすために、どんな機器や教材をどんな使い方をすればいいのかなど、子どもたちを主体に考えました。朝の会や行事の司会などでのタブレット端末の活用もそのひとつです。まだまだ課題もありますが、引き続き研修に取り組んで参ります。



1年間ありがとうございました。